



香港のナイトマーケットの代表「通菜街」、俗称「女人街」である。

ガイドブックには必ず登場する場所であり、香港観光客必見の地となる。

人でごったがえする狭い通りの両脇には露天風の小店がところ狭し、とばかりに立ち並ぶ。

何故「女人街」というかといえば、女子向けのファッション、バッグ、アクセサリ、日用品が商品のメインとなっているからである。

勿論、男子用商品もあるのだが、こここのコンセプトはあくまでも「女人」なのである。

その呼び方に、何か惹きつけられるものがある。

まさにネーミングの妙といえよう。

かくして私もこの場所にはこれまで何回も足を運んだものだ。

ここは香港の九龍地区、それも「旺角(モンコック)」という下町にある。

この界隈の圧倒されんばかりの賑やかさとバイタリティは観光/商業都市の香港とは異なる顔をもつ。

さて、今回出張での宿泊ホテルは香港島側。

それでも寝るまでの時間を利用して対岸の九龍地区まで地下鉄に乗った。

「女人街」もさることながら、この喧騒の町「旺角(モンコック)」を思い出すためにも。

以前とは格段の人の数とエネルギー、「旺角(モンコック)」は今も眠らぬ町であった。